

(関連詳細資料 2-①)

【再生可能エネルギー(風力発電)】 プログラム

仮訳

**米国エネルギー省(DOE)の風力・水力プログラム
ミッション、ビジョン、そしてゴール**

DOEの風力・水力プログラムのミッション、ビジョン、そしてゴールは、風力と水力の発電技術性能を向上させ、コストを低減し、それらの展開の加速を支援することである。

ミッション

本プログラムのミッションは、米国国内における再生可能エネルギー生産の便益を実現するための、信頼性があり、安価で環境的に持続可能な風力および水力の発電技術の開発とその展開を拡大するための国家資源の責任ある管理である。

ビジョン

本プログラムのビジョンは、エネルギー保障、経済力、および環境のクオリティを最大限に高めるために、一つのチームが風力・水力発電技術への公的資金投資を管理することである。

風力発電のゴール

風力・水力発電プログラムは、産業、国立研究所、州・地方政府、その他の連邦政府関係機関と共に、風力発電技術の促進および風力発電の展開を加速すること目的としている。本プログラムでは、風力発電を 21 世紀の魅力的な先端技術の選択肢として位置付ける取り組みをゴールとして、以下のように決定した：

- 分散型風力発電技術: 2015 年までに、米国市場にて展開する分散型風力タービン(1 キロワットから 1 メガワットまで)を、その 2007 年ベースラインの 2,400 基の 5 倍に拡大する。
- 大型風力発電技術: 2012 年までに、Class 4 winds(15.7~16.8 マイル/時)の大型風力発電システムによる電力コストを、2002 年のベースラインである 5.5 セント/kWh から陸上システムの 3.6 セント/kWh に低減させる。
- 洋上(オフショア)風力発電技術: 2014 年までに、Class 6 winds(17.9~19.7 マイル/時)の大型風力発電システムによる電力コストを、2005 年のベースラインである 9.5 セント/kWh から浅瀬のオフショアシステムの 7 セント/kWh に低減させる。

- 再生可能エネルギーシステムインターコネクション: 国のエネルギー需要を満たすことを目的に、風力エネルギーが不利な立場でなく競争するのに必要な電力市場ルール、連係の影響、運用戦略およびシステム設計に対処するプログラム活動を 2012 年までに完成させる。
- 技術の承認: 2010 年までに、最低でも 100 メガワット(MW)の風力発電システムを 2002 年のベースラインの 8 州から、30 州での設置を促進する。また 2018 年までには、最低でも 1,000 メガワット(MW)のシステムを、2008 年のベースラインの 3 州から、少なくとも 15 州での設置を促進する。

風力発電戦略

プログラム戦略計画会議

2008 年 2 月 5 日から 6 日かけて、風力・水力発電プログラムは、プログラム戦略計画会議を開催した。資金調達プロセスの一環として定期的に行われるこの会議には、産業界、研究スタッフ、プログラムのピアレビュー委員会からの代表者が参加している。次年度の研究計画を立てる際にプログラムが考慮に入れるべき、時宜を得た重要な市場動向への洞察を、産業界のパートナーが確実に提供できるようプログラムの管理、戦略的計画立案に関して議論される。2008 年度のプログラム戦略計画会議は、報告書「2030 年までに風力発電比率を 20%に」([20% Wind Energy by 2030 report](#)) の初期の所見に焦点が当てられた。

2008 年度風力発電戦略計画会議最終レポート([PDF 1.3 MB](#))を参照のこと。

アドビリーダーダウンロード([Download Adobe Reader](#))

水力発電ゴール

風力・水力発電プログラムは、それらのエネルギー生産ポテンシャルをより深く理解し、そのポテンシャルの実現を阻む技術的・非技術的な障害を把握し、それに対処することを目的として広範囲に渡る高度な水力発電技術の研究開発を支援する。

高度な水力発電技術には以下が含まれる:

- 波、潮汐、海流、河川 of 自然流水、およびダムや放水路を新設しないで海洋熱勾配からエネルギーを取り込む海洋および流体動力技術
- 水資源から発電するダム、放水路、あるいは貯水池を利用する従来の水力発電

1976 年から 2006 年までの間、本プログラムは小水力発電実証、環境負荷緩和調査、および高度水力タービンシステムを重点的に、従来型の水力発電技術の開発支援を集中的に実

施してきた。2005年より、米国議会は海洋および流体動力技術の研究開発の実施に多大な新規のファンディングを認める2005年のEnergy Policy ActおよびEnergy Independence and Security Actを通して、従来型と新型の両方の水力発電技術の開発を支援している。2008年度、議会はプログラムの高度な水力発電技術の研究対し730万ドルの予算を承認した。

水力発電戦略

本プログラムは現在、Multiyear Program Planの一環として、その水力発電研究のゴールとターゲットを作成中である。

翻訳：NEDO（担当 総務企画部 松田 典子）

出典：本資料は以下の記事を翻訳したものである。

DOE – Energy Efficiency & Renewable Energy

Wind & Water Power Program

Mission, Vision, & Goals (<http://www1.eere.energy.gov/windandhydro/mvg.html>)